



様々な省庁がある中で
国税庁を選んだ理由をズバリ!

様々な省庁の説明会に参加する中で、国税庁の職員が強い熱意と使命感を持って業務に取り組んでいると感じたことが、志望の大きな理由です。さらに、国税庁では課税・徴収業務に加え、酒類業振興の分野にも携われる点に魅力を感じました。官庁訪問で他省庁と迷った際も、国税庁なら税務分野にとどまらず幅広い業務に挑戦できるという選択肢の広さが、決め手となりました。

1年目の業務で
最もチャレンジングだったことは?

国会議員の先生から寄せられる質問事項・レク依頼の室内とりまとめです。優先順位が高い業務のため、どの係が関係するのかを正確に把握して依頼することが重要です。自身も一年目職員として知識を深めながら、円滑な調整と迅速な回答を心がけています。

働いて実感した国税庁の魅力は?

いざ国税庁で実際に働いてみると、フレックス勤務や育休制度に対する理解が進んでいることに驚きました。仕事への熱意とワークライフバランスへの理解が両立しているのは魅力だと思います。さらに、複雑な税制について深く学ぶ機会があるため、専門性を磨ける環境だと思います。

現在担当している業務は?

私が従事している課税総括課の調査第三係では、全国の国税局(所)の資料調査課(法人税担当)や統括国税吏査官(消費税等担当、広域担当)の事務運営を担当しています。また、消費税不正還付への対応として、調査体制の構築や、税関・入管庁との情報連携作業も行っています。新規施策の検討や、既存の事務の見直しなど、現場の視点を大切にしつつ、庁としてどのように動くべきなのかを日々考えながら、業務に取り組んでいます。

働いて実感した国税庁の魅力は?

組織の全体や国の施策に関わるスケールの大きな仕事に挑戦できること、若手の意見もしっかり聞いてもらえる風通しの良さと、親切で熱意のある上司・先輩の方々と一緒に仕事ができることが国税庁の魅力だと思います。自分の携わった業務が組織において実行され、成果に繋がっていく過程を感じられることに大きなやりがいを感じています。

学生の皆さんへメッセージを
お願いします!

先が見えず辛い時もあると思います。その選択に正解があるかは、やってみないと分かりません。だからこそ、自分の心に正直に、納得できる道を選んでください。ここでの頑張りや、どんな道に進んでも必ず自分を支える力になります。皆様の未来が輝かしいものであることを心から願っています。



一日のスケジュール

09:30

登庁&1日の作業事項の整理
通勤時間は語学の勉強をしたり、ドラマや映画を観たりしています。
登庁したらまず、その日にやることをメモして頭を整理させることが毎日のルーティンとなっています。



10:00

会議のロジ業務
庁内で行われる各種会議の事務局を担うことが多いので、会議室予約や当日の案内、会議後の議事録作成等、ロジ面での作業を行っています。

12:15

昼休み
週末にまとめて作ったお弁当を温めて執務室で食べています。また、同じく執務室で昼食をとっている課室の先輩方と雑談するのも昼休み時間中の楽しみの一つです。



13:00

幹部レク
係内で作成した資料や取りまとめた資料などについて、課長や審議官、内容によっては長官までご説明する際、必要に応じてTeamsを繋いだり、メモをとったりするのが1年目職員としての役割です。



15:00

財務省主税局とのやり取り
税制改正に関わる議論や税制調査会に関する情報などについて、財務省主税局と適宜メールでやり取りをしたり、対面で直接話し合ったりすることで連携を図っています。

18:00

退庁
朝に作成したメモでやり残したことがないか確認し、基本的には定時で退庁します。退庁後は、自炊をしたり、趣味に没頭したりと余暇を楽しんでいます。

